



理学研究科・フotonサイエンス

セミナー

講師：松田 康弘（東京大学物性研究所）

題目：パルス強磁場を用いた放射光 X 線実験

[概要] 強磁場中で発現する様々な現象を理解するために放射光 X 線は極めて有効なプローブである。しかし、20 T を超える磁場は大型専用施設やパルス磁場の利用が必要であり、放射光 X 線との組み合わせはそれほど容易ではない。我々はこれまでに、小型パルスマグネットによる X 線回折、XAS、XMCD、などの実験を SPring-8 や PF-AR で行ってきた。マンガン酸化物や希土類金属間化合物の磁場誘起相転移の研究を中心に紹介する。また、最近行っている SACLA での小型一巻きコイル磁場発生装置による 77 T の強磁場実験についても言及する。

日時：2022 年 6 月 20 日（月曜日）13:30~14:30

場所：兵庫県立大学理学部 研究棟談話室（739 号室）

WEBEX でも配信予定です。奮ってご参加ください。

問い合わせ先：小林 寿夫（理学研究科 物質科学専攻）

電話：0791-58-0145 E-MAIL: kobayash@sci.u-hyogo.ac.jp